



2016年（平成28年）10月期

第2四半期決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長

なかはま ゆうじ
中浜 勇治

（東京証券取引所（ジャスダック市場）、証券コード：7827）

2016年6月24日

PART 1 会社の概要

PART 2 2016年10月期第2四半期の連結業績

PART 3 市場環境と今後の取組み

PART 4 2016年10月期の業績予想

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、ライフクリエイト、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松（ラジアータパイン）製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治（なかはま ゆうじ）
資本金	6億8,498万円
従業員数	178人（2016年04月末現在）
連結売上高	54億円（2016年04月期末）
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築及び太陽光発電システムの請負、自然エネルギー等による発電事業、フィットネスクラブ及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0104 広島県福山市松永町六丁目10番1号
連結子会社	株式会社パル（2016年05月に吸収合併）

● 社名の由来 ●



当社社名の「オービス（ORVIS）」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様へ利益を還元していく」という意味をあらわしております。

■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成14年08月	木材運搬船「グリーンホープ」（最大積載量35,000トン）完成、航海開始
昭和37年05月	広島県世羅郡世羅西町（現世羅町）に製材工場を建設		（平成26年5月売却）
昭和43年03月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和46年06月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成15年05月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和49年09月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜木材株式会社を設立	平成18年09月	ジャスダック証券取引所に上場 （現東京証券取引所JASDAQ市場）
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成20年08月	木材事業姫路工場稼働開始 （平成26年11月閉鎖）
平成01年04月	カラオケハウスの製造販売開始	平成22年02月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始
平成04年04月	株式会社オービスに商号変更	平成27年11月	フィットネスクラブ「スポパル」オープン
平成12年12月	パナマにTUI MARITIME S.A.を設立 （平成26年9月解散）	平成28年01月	カラオケ事業から撤退
		平成28年04月	広島県福山市松永町へ本社を移転

PART 1 会社の概要

PART 2 2016年10月期第2四半期の連結業績

PART 3 市場環境と今後の取組み

PART 4 2016年10月期の業績予想

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

摘要	2015年 第2四半期末	構成比	2016年 第2四半期末	構成比	増減
流動資産	5,170	61.5%	5,343	52.4%	173
固定資産	3,230	38.5%	4,854	47.6%	1,623
資産合計	8,400	100.0%	10,197	100.0%	1,796
流動負債	3,228	38.4%	4,408	43.2%	1,179
固定負債	3,468	41.3%	3,528	34.6%	60
負債合計	6,696	79.7%	7,936	77.8%	1,239
純資産	1,703	20.3%	2,260	22.2%	557
負債・純資産合計	8,400	100.0%	10,197	100.0%	1,796

●自己資本比率
20.3% 22.2%

●有利子負債比率
55.1% 54.5%

- 流動資産⇒受取手形及び売掛金等 + 492百万円⇒ハウス官公庁の回収期間が長期間（約5年）となる物件を複数落札、売上計上
⇒販売用不動産△200百万円⇒一般顧客へ販売（3Qでも複数販売予定）
- 固定資産⇒機械装置及び運搬具 + 638百万円⇒売電用自社太陽光発電設備の取得
⇒土地 + 1,025百万円⇒木材福山工場（新工場）用地の取得
- 流動負債⇒短期借入金 + 790百万円⇒木材福山工場（新工場）用地の取得に伴う、つなぎ資金借入（2016年3月に900百万円借入実行）
⇒その他 + 235百万円⇒大きな変動なし（複数の勘定科目で微増）
- 固定負債⇒大きな変動なし
- 純資産⇒利益剰余金 + 592百万円⇒四半期純利益の計上

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

摘要	2015年 第2四半期 累計期間	百分比	2016年当初 第2四半期 累計業績予想	2016年 第2四半期 累計実績	百分比	対前年 同期比	対業績 予想比
売上高	4,043	100.0%	4,892	5,419	100.0%	134.0%	110.8%
売上総利益	708	17.5%	921	1,011	18.6%	142.8%	109.7%
販売費及び 一般管理費	465	11.5%	492	477	8.8%	102.6%	97.0%
営業利益	242	6.0%	340	533	9.8%	220.1%	156.7%
経常利益	229	5.7%	316	515	9.5%	224.3%	163.0%
四半期純利益	171	4.3%	285	411	7.6%	239.3%	144.0%
1株当たり 四半期純利益	99.31円	—	165.09円	237.66円	—	—	—

- 木材事業⇒梱包市場等の受注環境が厳しい中、NZ材自社製品の出荷量は減少（前年同期比93.5%）、NZ材自社製品の平均販売価格は低下（前年同期比93.5%）、原木価格は最大消費国の中国経済の減速を受けて値下り
国産の杉・檜・カラ松等の商材販売量は大幅に増加（前年同期比135.9%）
- ハウス・エコ事業⇒前期からの豊富な受注残高を背景に各工事が順調に完工、売上高は大幅に増加（前年同期比187.5%）
- 不動産事業⇒販売用不動産4件の引渡し、売上高は大幅に増加（前年同期比470.8%）
- 四半期純利益⇒ライフクリエイイト事業のフィットネスクラブの減価償却負担等を吸収、第2Qベースでは過去最高益を更新

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

摘要	2015年 第2四半期	2016年 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	61	1,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135	△1,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	296	597
現金及び現金同等物の四半期末残高	896	893

 フリーキャッシュ・
フローの獲得が課題

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	+ 514百万円
たな卸資産の減少額	+ 379百万円
前渡金の減少額	+ 255百万円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出△1,410百万円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加額	+ 790百万円
長期借入れによる収入	+ 350百万円
長期借入金の返済による支出	△514百万円

4. セグメント業績

木材事業

- 安値販売を排除し、製品販売価格の維持を徹底（必要以上に出荷量の拡大を追わず）
- NZ材自社製品の出荷量は40千m³（前年同期比93.5%）、NZ材自社製品の平均販売価格は低下（前年同期比93.5%）、販売価格の低下と比較して、原木価格（原材料）の値下りが大きく、利益が増加
- 原木消化量は64千m³（前年同期比94.9%）、製品販売価格を維持するため、一時的に減産を実施
- 顧客への営業訪問回数を増加、顧客ニーズを的確に把握
- 関東・東海地区の顧客への供給体制を更に強化、北海道のカラ松等の商材仕入先を重点的に開拓
- 国産の杉・檜・カラ松等の商材販売量は22千m³（前年同期比135.9%）、安定的な利益を確保



輸出用梱包用材



パレット材



電線ドラム用材

（単位:百万円）

摘要	2015年 第2四半期 累計実績	百分比	2016年 第2四半期 累計実績	百分比	対前年 同期比
売上高	2,401	100.0%	2,389	100.0%	99.5%
営業費用	2,187	91.1%	2,111	88.4%	96.5%
営業利益	213	8.9%	278	11.6%	130.1%
平均為替 レート（円）	112.99	—	120.25	—	106.4%

ハウス・エコ事業

- 前期からの豊富な受注残高を背景にハウスの大型工場やエコの大型太陽光発電システム等の各工事が順調に完工、売上高は26億45百万円（前年同期比187.5%）
- 対官公庁売上高は、前年同期とほぼ横ばいながら、対民間売上高は大幅に増加（前年同期比227.5%）
- 工事粗利率の向上を目的とした受注時採算性の強化、原価・施工管理の徹底を継続（売上高は前年同期比187.5%となったが、工事粗利率は前年同期と同水準を確保）
- 自社太陽光発電設備の売電収入は86百万円（前年同期比1,089.7%）、第2Qに2016年10月売電開始予定のメガソーラー等（3物件）の工事に着手
- 受注残高は897百万円（前年同期比86.7%）


 工場施工例（広島県）
2015年11月完工

 メガソーラー施工例
（千葉県）
2016年3月完工

（単位:百万円）

摘要	2015年 第2四半期 累計実績		2016年 第2四半期 累計実績		
		百分比		百分比	対前年 同期比
売上高	1,410	100.0%	2,645	100.0%	187.5%
営業費用	1,304	92.5%	2,319	87.7%	177.7%
営業利益	105	7.5%	326	12.3%	307.7%

ライフクリエイイト事業

- カラオケは、2016年1月をもって残りの1店舗を閉鎖、カラオケ事業から撤退
- ゴルフ場部門の売上高は、お客様の利便性の向上を目的とした設備の改修、各種イベントを開催、来場者数は増加（前年同期比109.3%）
- カラオケ事業に代わる新規事業として、フィットネスクラブ1号店（スポパル）を2015年11月に広島県福山市にオープン
 - 新しいプログラムの導入やゴルフ・ボーリング大会等の各種イベントを毎月開催
 - 新聞広告、ポスティングを積極的に活用、認知度の向上を図る
- 事業全体の利益面は、フィットネスクラブの減価償却負担・広告宣伝費の増加、目標会員数獲得までに期間を要することから、前年同期に比べ営業赤字が拡大（営業損失額45百万円は予算通りの数値）



スポパル福山緑町店
インドアサイクル



中須ゴルフクラブ
クラブハウス

(単位:百万円)

摘要	2015年 第2四半期 累計実績		2016年 第2四半期 累計実績		
		百分比		百分比	対前年 同期比
売上高	186	100.0%	175	100.0%	94.1%
営業費用	195	104.8%	220	125.9%	113.1%
営業損失 (△)	△8	—%	△45	—%	—%

PART 1 会社の概要

PART 2 2016年10月期第2四半期の連結業績

PART 3 市場環境と今後の取組み

PART 4 2016年10月期の業績予想

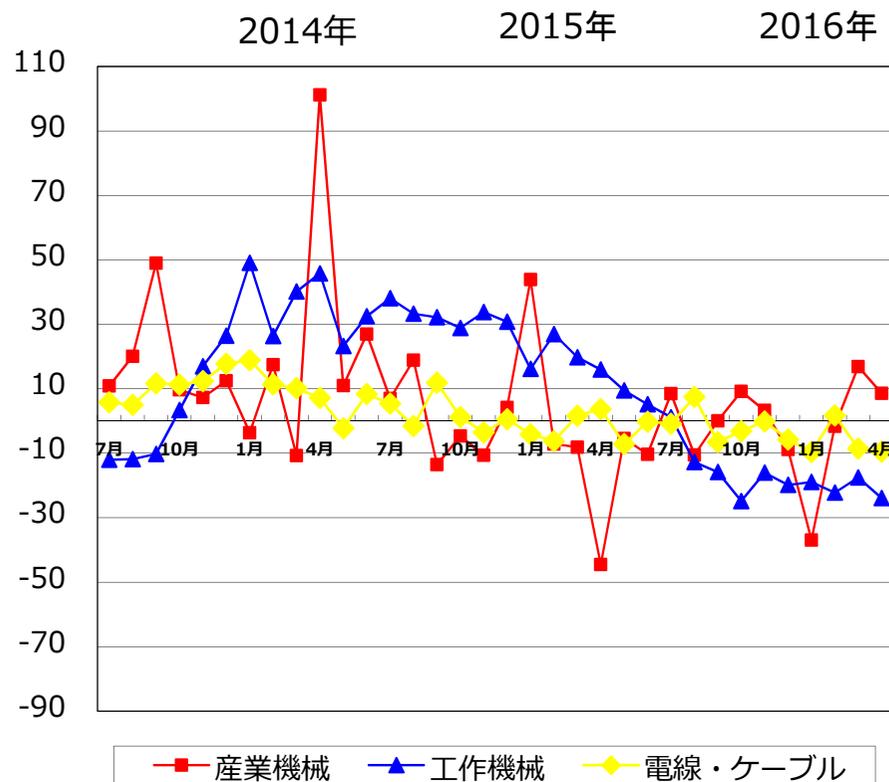
■ 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

内閣府経済社会総合研究所

機械受注統計調査

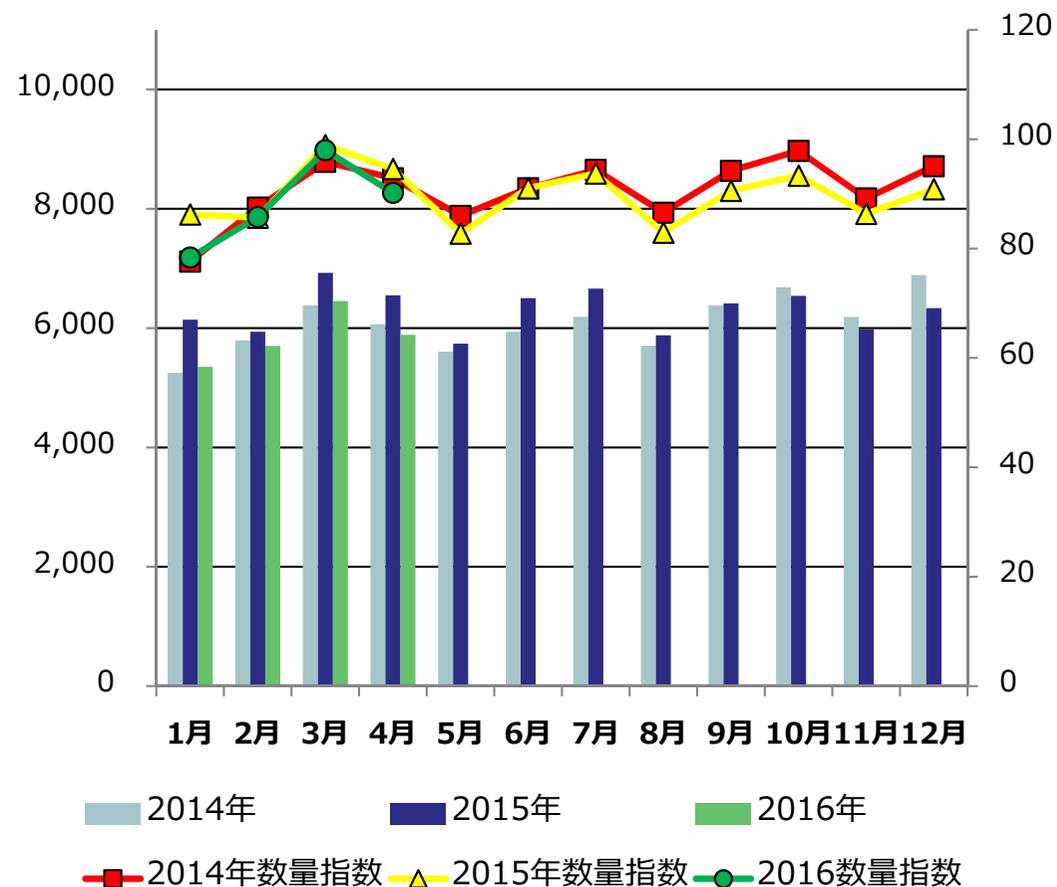
前年同月比 (%)



■ 産業機械・工作機械等の受注は低調。輸出量も伸びず

■ 輸出の状況 (財務省貿易統計)

(十億円, %)



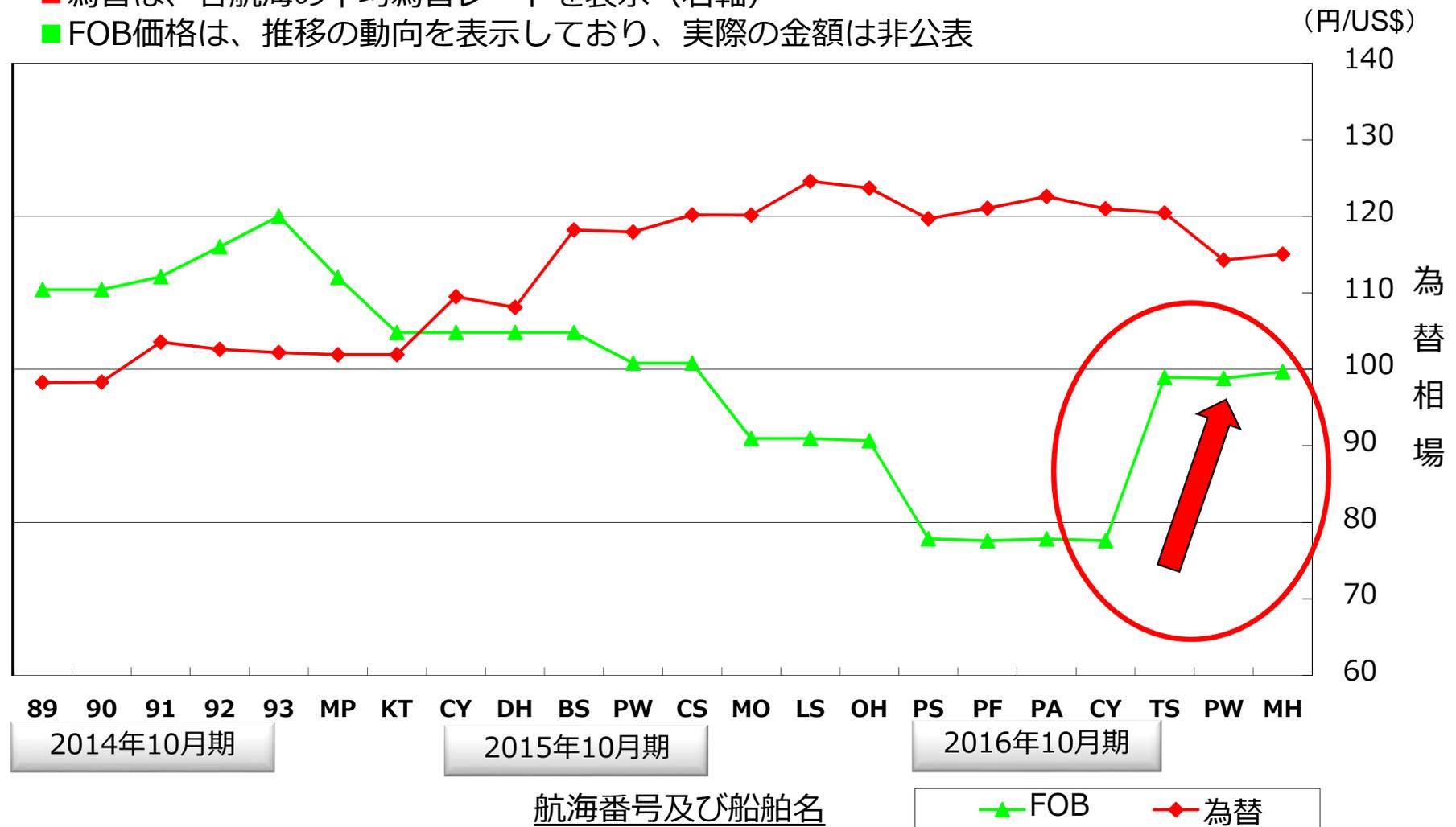
輸出金額及び輸出数量

※輸出数量指数は2010年を100とした数値

■ 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替とFOB価格の推移

- 為替は、各航海の平均為替レートを表示（右軸）
- FOB価格は、推移の動向を表示しており、実際の金額は非公表

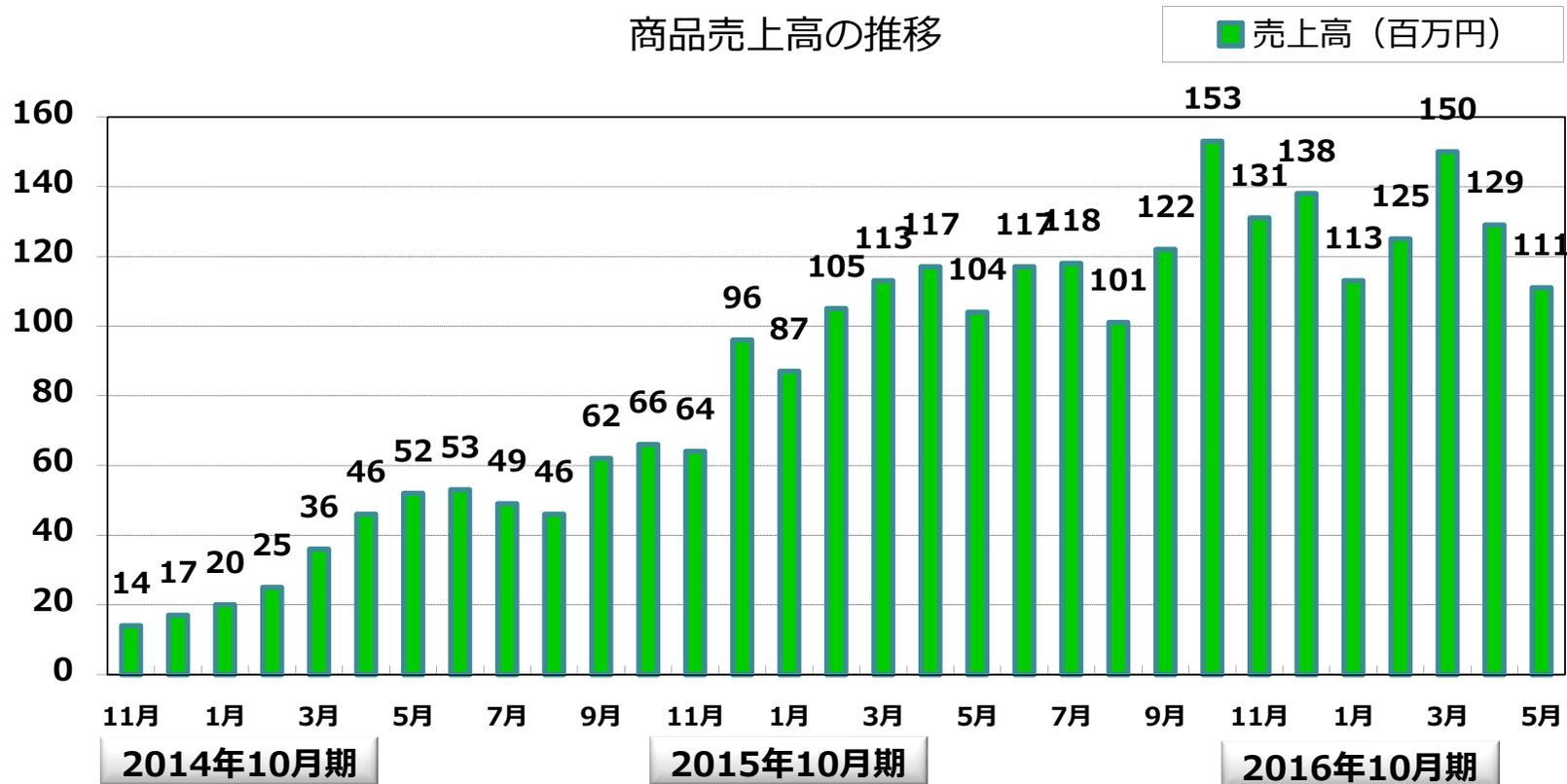


■ 為替は120円台/ドルから115円台/ドルへ円高進行（第3Qに入り更に円高進行が加速）、FOB価格は最大消費国である中国経済の停滞で第1Qまでは弱含みで推移。第2Qに入り同国のNZ材の原木在庫調整が進み、大幅上昇

■ 木材事業：取組みの進捗状況

- 製品出荷量40,448m³（予算比93.5%）、原木消化量64,748m³（予算比95.8%）
 - 本社工場で生産するNZ材を適正価格で販売（予算比104.4%）
 - 安値販売の排除を徹底、梱包市況が不況の場合は、一時的に減産を実施
- 国産材（杉・檜、北海道カラ松等）、外材、LVL等の商材を拡販
 - 既存の販売ルートを活用、NZ材以外の商材を販売
 - 北海道カラ松を主として、仕入先の更なる開拓を行い、新規・休眠顧客の掘り起こしに注力
 - 第2Qの商材売上高7億90百万円（予算比138.7%）

商品売上高の推移



■ 木材事業：今後の取組み ①～福山工場（新工場）の建設



※福山工場建設予定地

■ 木材事業：今後の取組み ②～福山工場（新工場）の建設

■ 木材事業福山工場（新工場）の建設理由

- 昭和62年に建設され30年が経過し老朽化が進んだ現工場を移転し、更なる生産効率・品質の向上を図る
- 姫路工場操業停止（2014年4月⇒同年11月閉鎖）以降、2交代で操業を続けている現工場の労働環境を改善
- 広島県福山市が2016年2月に売出した近隣土地を落札したため

■ 木材事業福山工場（新工場）の概要

- 名称・・・株式会社オービス木材事業福山工場
- 住所・・・広島県福山市柳津町1丁目2263番1、2263番3
- 敷地面積・・・21,207.1㎡（現工場の約2倍強） ● 総投資額・・・36億80百万円（銀行借入を予定）
- 工事着工・・・2016年8月～9月（予定） ● 工事竣工・・・2018年5月（予定）
- 生産開始・・・2018年10月（予定）
- 福山工場（新工場）建設の主なメリット

摘要	現工場	福山工場（新工場）	メリット
原材料	NZ松	NZ松及び国産杉材	為替やFOB価格といった外的要因の影響を受けるNZ材のみの生産から、国産杉材を生産することで、原材料コストに占める外的要因の影響度を低下させる
生産量（年間）	約138千m ³	約150千m ³	国産材の商材仕入量を調整し、新工場です新たに国産杉材を生産（1m ³ あたりの製造コストを削減）
工場敷地面積	約10千m ²	約21千m ²	現工場の2倍以上の敷地面積であるため、生産ラインの効率化が実現
工場勤務形態	日勤と夜勤の2交代（残業+土曜日稼働）	日勤（残業なしの土曜日休暇）	約150千m ³ を平日の定時操業で生産可能、現場従業員確保の問題解消
歩留率	—	現工場より最低1%向上	利益増加
長さ4m超の製品の製材	製材不可（4m超は少量を外注生産）	4m超も製材可能	大口輸出梱包業者への販路拡大

■ ハウス・エコ事業の市場環境

■ 建設総合統計（出来高ベース）国土交通省公表



■ 建設需要は、2015年中に持ち直しの兆しがあったものの、2016年に入り減速傾向。

●ハウス・エコ事業：今後の取組み

■建設需要への取組み

- 学校の耐震改修のための仮設校舎や放課後児童クラブ等の官公庁入札へ積極的に参加
- 1億円以上の大型物件の受注と受注件数の増加
- 選別受注の実践による現在及び将来にわたっての利益率向上への更なるこだわり
(利益率重視の取組みが浸透しつつある)
- 継続的成長を目指した計画的人材育成の実践
- 2016年は、国内景気の不透明感や労務費の高騰、資材価格の上昇等が懸念材料となるが、引続き原価・施工管理の徹底の図り、現場力の強化を推進
- 来期に向けて官公庁の入札に積極的参加、大型物件の受注確保、受注残高を期末までに約15億円確保

■太陽光発電への取組み

- 再生可能エネルギー政策の転換に合わせ、提案型営業の推進、設備認定済みを中心とした大型案件や50kW以下の低圧案件の取込みに注力
- 売電用自社太陽光発電設備の建設を加速（フル稼働の場合は、年間4億円以上の売電収入を見込む）



2015年10月末
稼働中 約**4.5MW**

2016年10月末
稼働予定 約**8.5MW**

2017年10月末
稼働予定 約**10MW**

2018年10月末
稼働予定 約**12MW**

● ライフクリエイト事業：今後の取組み

- 2016年1月にカラオケ部門から撤退、フィットネスを中心としたライフクリエイト事業へ移行
- 連結子会社株式会社パルを吸収合併（2016年5月1日付）
- ゴルフ場部門は、お客様の利便性の向上を目的とした設備の改修、各種イベントを積極的に開催、近隣コースとの競争力の確保、更なる魅力あるゴルフ場づくりへの取組み
- フィットネス部門は、2015年11月にスポパル緑町クラブをオープン
 - 広島県福山市の中心地、ショッピングモールの2階にオープン
 - インドアサイクル、トランポリン等を利用した福山市初のスタジオプログラムを導入
 - 昼間のシニア層、主婦層、夜間の若者、ビジネス層の取込み
 - 会員数は順調に増加、第3Qに会員数1,000人超えを目指す
 - オープンから遅くとも3年目には営業黒字化を図る
 - 中国地方を中心に今後の多店舗展開を検討、管理・運営ノウハウ等の事業基盤を構築



スポパル福山緑町店（広島県福山市）



中須ゴルフクラブ（山口県周南市）

山口県の観光名所 錦帯橋をモデル

PART 1 会社の概要

PART 2 2016年10月期第2四半期の連結業績

PART 3 市場環境と今後の取組み

PART 4 2016年10月期の業績予想

1. 個別業績予想（通期）

（単位：百万円）

摘要	2015年 （連結）	百分比	2016年 （個別）	百分比	対前期比
売上高	7,966	100.0%	8,226	100.0%	－%
売上総利益	1,441	18.1%	1,478	18.0%	－%
販売費及び一般管理費	956	12.0%	1,087	13.2%	－%
営業利益	484	6.1%	391	4.8%	－%
経常利益	452	5.7%	341	4.2%	－%
当期純利益	370	4.6%	354	4.3%	－%
1株当たり当期純利益	213.88円	—	205.04円	—	—

- 当社（吸収合併存続会社）と連結子会社株式会社パル（吸収合併消滅会社）は、平成28年5月1日に合併
上記の合併によって、連結対象の子会社がなくなり、平成28年10月期（通期）は個別のみの開示
なお、通期業績予想数値の対前期比は、比較対象が異なるため、記載していない
- 上半期は、売上高及び各利益共、業績予想を上回ったが、木材事業の梱包市場等の動向、為替相場、原材
料（FOB）価格及び来期以降の課税所得（繰延税金資産計上額）など、先行き不透明な要素が多いことか
ら、通期業績予想（個別）は据え置き

2. 配当予想

	期末配当金	配当性向
2015年 10月期	10.00円	4.7%
2016年 10月期	15.00円	7.3%

- 本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

- IR担当窓口



株式会社 オービス 経理部 井上 清輝

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail : ir@orvis.co.jp

URL : <http://www.orvis.co.jp>